

# 文教警察企業常任委員会資料

令和4年12月1日～2日

教 育 委 員 会



# 目 次

## 【議案】

- 議案第1号  
令和4年度宮崎県一般会計補正予算（第6号） ----- 4
  - ・ 債務負担行為（追加） ----- 5
  - ・ 県立学校及び社会教育施設等における電気料等の補正 ----- 6
  
- 議案第8号  
市町村立学校職員の定年等に関する条例等の一部を改正する条例 ----- 8
  
- 議案第16号  
公の施設の指定管理者の指定について ----- 10
  
- 議案第23号  
令和4年度宮崎県一般会計補正予算（第7号） ----- 4
  - ・ 人件費補正 ----- 4
  - ・ 宮崎海洋高等学校進洋丸代船建造事業に係る補正 ----- 14
  
- 議案第29号  
市町村立学校職員の給与等に関する条例及び義務教育諸学校等の  
教育職員の給与等に関する特別措置に関する条例の一部を改正す  
る条例 ----- 16

## 【その他報告事項】

- 次期「宮崎県教育振興基本計画」（骨子案）について ----- 18
  
- 第77回国民体育大会の結果について ----- 22

○議案第1号 令和4年度宮崎県一般会計補正予算（第6号）

○議案第23号 令和4年度宮崎県一般会計補正予算（第7号）

【単位：千円】

会計	所 属	補正前の額	補 正 額				補正後の額
			議案第1号	議案第23号		補正計	
				給与改定分	その他		
一 般 会 計	教育政策課	3,134,105		10,950		10,950	3,145,055
	財務福利課	5,156,319	218,809			218,809	5,375,128
	高校教育課	3,610,952			60,000	60,000	3,670,952
	義務教育課	147,006				0	147,006
	特別支援教育課	439,448				0	439,448
	教職員課	92,519,812		426,346		426,346	92,946,158
	生涯学習課	685,408	22,475			22,475	707,883
	スポーツ振興課	2,800,373				0	2,800,373
	文化財課	484,478	14,220			14,220	498,698
	人権同和教育課	113,153				0	113,153
	合 計	109,091,054	255,504	437,296	60,000	752,800	109,843,854
特 別 会 計	財務福利課 (県立学校実習事業)	238,010	0			0	238,010
	財務福利課 (育英資金)	3,588,750	0			0	3,588,750
	合 計	3,826,760	0	0	0	0	3,826,760
	総 計	112,917,814	255,504	437,296	60,000	752,800	113,670,614

【議案第1号】

債務負担行為（追加）

事 項	期 間	限 度 額
(スポーツ振興課) 宮崎県スポーツ施設管理運営委託費 (新宮崎県体育館)	令和 4年度から 令和 9年度まで	千円 298,367

【議案第1号】

県立学校及び社会教育施設等における電気料等の補正

財務福利課  
生涯学習課  
文化財課

1 事業の目的・背景

原油価格・物価高騰への対応として、県立学校及び社会教育施設等において、不足が見込まれる電気料等を増額補正し、学校教育及び社会教育活動が円滑に継続できる体制を整える。

2 事業の概要

(1) 予算額 255,504千円

(内訳) 財務福利課	218,809千円
生涯学習課	22,475千円
文化財課	14,220千円

(2) 財源 一般財源

(3) 事業期間 令和4年度

(4) 事業内容

県立学校及び社会教育施設等（図書館、美術館、総合博物館、西都原考古博物館、埋蔵文化財センター）の電気料等の不足額について、増額補正を行う。

3 事業効果

必要な電気料等の予算額を確保することによって、施設の適正な維持管理の継続と学校教育及び社会教育活動の円滑な実施を図ることができる。

○○○○

## 【議案第8号】

# 市町村立学校職員の定年等に関する条例等の一部を改正する条例

教職員課

## 1 改正の理由

地方公務員法の改正を踏まえ、令和5年4月1日より、市町村立学校職員の定年を引き上げる等、所要の改正を行うものである。

## 2 改正の内容

### (1) 定年年齢

令和5年4月1日から2年に1歳ずつ引き上げ、最終的に令和13年4月1日から65歳とする。

### (2) 管理監督職勤務上限年齢制（役職定年制）の導入

管理監督職員は、60歳に達した年度の翌年度に非管理監督職に転任又は降任となる。

#### ①対象となる職

##### ア 管理監督職

管理職手当支給対象となる職

##### イ 管理監督職に準ずる職

主幹教諭、指導教諭、事務主幹（6級）

#### ②役職定年年齢

60歳

#### ③特例任用

公務運営に著しい支障がある場合や欠員補充が困難な場合は、②に達した職員を引き続き管理監督職として勤務させることができる。

### (3) 定年前再任用短時間勤務制の導入

引き上げ後の定年年齢前（60歳に達した日以後）に退職した職員について、定年退職日相当日までの間、選考に基づき短時間勤務の職に採用することができる制度を導入する。

### (4) 暫定再任用制度（現行の再任用制度）

令和14年3月31日までの間、定年退職日以後65歳に達する年度の末日までの間にある職員について、選考に基づき常時勤務を要する職又は短時間勤務の職に再任用することができる。

### (5) 60歳を迎える職員への情報提供及び意思確認

職員が60歳に達する日の前年度に、60歳以後の任用、給与、退職手当等に関する情報を提供し、職員の勤務の意思を確認する。

### (6) その他

上記改正に伴う関係規定の改正



### 3 改正等を要する条例

- (1) 市町村立学校職員の定年等に関する条例（昭和59年条例第18号）
- (2) 市町村立学校職員の分限に関する条例（昭和31年条例第38号）
- (3) 市町村立学校職員の懲戒に関する条例（昭和31年条例第39号）
- (4) 市町村立学校職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例（平成8年条例第16号）
- (5) 市町村立学校職員の再任用に関する条例（平成13年条例第22号） ※廃止

### 4 施行期日

令和5年4月1日から施行する。

ただし2（5）については、公布の日から施行する。

#### 【参考】定年の段階的引き上げについて

年度	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	R 13	R 14	R 15
定年年齢	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71
生年度	S37生が 60歳で 定年退職	-	S38生が 61歳で 定年退職	-	S39生が 62歳で 定年退職	-	S40生が 63歳で 定年退職	-	S41生が 64歳で 定年退職	-	S42生が 65歳で 定年退職	S43生が 65歳で 定年退職
S37生	60歳 定年退職	61歳 暫定再任用	62歳	63歳	64歳	65歳						
S38生	59歳	60歳	61歳 定年退職	62歳 暫定再任用	63歳	64歳	65歳					
S39生	58歳	59歳	60歳	61歳	62歳 定年退職	63歳 暫定再任用	64歳	65歳				
S40生	57歳	58歳	59歳	60歳	61歳	62歳	63歳 定年退職	64歳 暫定再任用	65歳			
S41生	56歳	57歳	58歳	59歳	60歳	61歳	62歳	63歳	64歳 定年退職	65歳 暫定再任用		
S42生	55歳	56歳	57歳	58歳	59歳	60歳	61歳	62歳	63歳	64歳	65歳 定年退職	
S43生	54歳	55歳	56歳	57歳	58歳	59歳	60歳	61歳	62歳	63歳	64歳	65歳 定年退職

※年齢は年度末年齢

部分は定年引き上げに伴い定年が延びる分（定年前再任用短時間勤務も可能）

定年退職日以後、65歳に達する年度までは暫定再任用が可能

## 【議案第16号】

# 公の施設の指定管理者の指定について

スポーツ振興課

## 1 施設の概要

### (1) 施設名

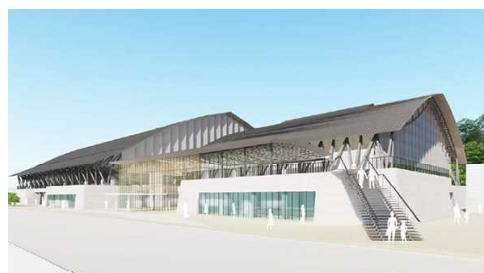
新宮崎県体育館 延岡市大貫町1丁目2894

### (2) 整備スケジュール

令和3年9月 建設着工（サブアリーナ）

令和5年5月 サブアリーナ完成予定

令和7年9月 メインアリーナ完成予定



## 2 指定管理候補者

新宮崎県体育館スポーツ振興グループ

代表構成員： 公益財団法人宮崎県スポーツ施設協会 会長 春山 豪志  
宮崎市大字熊野2206-1

構成員：① 公益財団法人宮崎県スポーツ協会 会長 春山 豪志  
宮崎市大字熊野字島山1443-12

② 株式会社ジェイレック 代表取締役 加藤 裕之  
東京都練馬区関町南1-12-4

③ 一般社団法人延岡市スポーツ協会 代表理事 末次 稔  
延岡市東本小路131番地5

## 3 指定期間

令和5年4月1日から令和10年3月31日まで（5年間）

## 4 選定概要

### (1) 応募の状況

① 募集期間 令和4年7月7日から9月8日まで

② 応募者

ア 新宮崎県体育館スポーツ振興グループ

イ 株式会社文化コーポレーション

(2) 指定管理候補者の審査方法

① 審査の流れ

審査区分	構成	内容
書類審査	県(スポーツ振興課)	申請書類に基づいて資格審査を実施
指定管理候補者選定委員会による審査	外部委員のみで構成	書類審査を通過した応募者を対象に、各応募者のプレゼンテーション及びヒアリングを行い、審査を実施
指定管理候補者選定会議による確認	県(教育委員会及び総務部)	選定委員会の審査結果を、スポーツ振興課において選定基準等に基づき評価した結果と照らし合わせ、候補者案が異なっていないかを確認

② 指定管理候補者選定委員会委員

役職	氏名	所属・役職
委員長	三輪 佳見	宮崎大学大学院教育学研究科教授(学識者)
委員	岡本 真奈美	宮崎県スポーツ推進委員協議会会長(有識者)
委員	石川 理恵	宮崎県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会副会長(利用者)
委員	糸田 恵子	障がい者スポーツ指導員(利用者)
委員	野木村 崇久	公認会計士(経営)

③ 指定管理候補者選定会議委員

役職	所属・役職
議長	県教育委員会教育長
副議長	県教育庁副教育長
委員	県教育庁教育政策課長
委員	県教育庁スポーツ振興課長
委員	県総務部人事課行政改革推進室長

④ 選定基準・審査項目・配点

選定基準	審査項目	配点
ア 住民の平等な利用の確保	施設運営に関する基本方針 ----- 県が示した管理の基準に対する理解及び対応 ----- その他(平等な利用の確保に関する提案等)	20
イ 公の施設の効用を最大限に発揮する事業計画	利用者サービスの向上に関する提案 ----- 利用者増への取組に関する提案 ----- 施設の設置目的の理解と課題の認識 ----- 指定管理者の業務に対する意欲 ----- 施設等の維持管理の適格性 ----- 利用者満足度把握や苦情・要望対応、運営改善への反映 ----- その他(施設の効用の発揮に関する提案等)	30

ウ 経費の縮減等	指定期間内に県が支払う指定管理料の提案額	10
	業務遂行のための適切な経費の積算	
	管理業務の効率化と経費の縮減に関する考え方・提案	
	その他（経費縮減に関する提案等）	
エ 事業計画を着実に実施するための管理運営能力	必要な体制の確保（適正な組織、人員配置、責任体制）	30
	職員の能力育成（研修体制）	
	継続的に安定した運営が可能な財政的基盤（経営状況）	
	過去の類似事業の実績、評価	
	リスク管理の具体的対応策	
	事業計画及び収支計画の具体性、適格性、実現可能性	
	個人情報保護への対応	
	情報公開への対応	
	安全管理、危機管理への対応	
その他（継続性・安定性に関する提案等）		
オ 地域への貢献等	環境保全への対応	10
	地域経済への配慮	
	障がい者の就労支援への対応	
	その他（地域への貢献等に関する提案等）	
合 計		100

### (3) 審査及び選定理由

#### ① 指定管理候補者選定委員会における審査結果

1位 424.5点：新宮崎県体育館スポーツ振興グループ

最低基準点（委員合計500点満点の6割（300点））以上である。

2位 380.0点：株式会社文化コーポレーション

#### ② 指定管理候補者選定会議における確認結果

選定会議の確認結果は次のとおりであり、選定委員会の審査結果と相違ないことを確認した。

1位 84.5点：新宮崎県体育館スポーツ振興グループ

最低基準点（100点満点の6割（60点））以上である。

2位 74.0点：株式会社文化コーポレーション

#### ③ 選定理由

ア 選定委員会の審査及び選定会議の確認の結果、最低基準点を満たすとともに、申請者中最高得点であること。

イ 県が示した管理の基準を十分に理解しており、住民の平等な利用の確保や宮崎国スポ等の大規模な大会が開催が可能な事業計画であること。

- ウ 施設管理業務の実績を十分に有しており事業計画の実現可能性が高く、競技団体等との連携も期待できる等、施設の管理運営を着実に実施できる能力を有していると認められること。

## 5 新宮崎県体育館スポーツ振興グループからの提案内容

### (1) 指定管理料 (単位：千円)

項目	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	指定期間 5年(計)
提案額	53,507	54,113	60,033	65,357	65,357	298,367
基準価格 (提案額との差)	53,507 (0)	54,113 (0)	60,033 (0)	65,357 (0)	65,357 (0)	298,367 (0)

### (2) 収支計画 (単位：千円)

内容	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
収入(a)	59,225	60,610	73,946	87,725	87,725
指定管理料	53,507	54,113	60,033	65,357	65,357
利用料金	5,718	6,497	13,913	22,368	22,368
支出(b)	59,225	60,610	73,946	87,725	87,725
人件費	29,955	30,083	39,617	43,842	44,235
委託料	9,638	9,638	10,521	10,521	10,521
光熱水費	10,500	10,800	13,540	21,740	21,620
使用料及び賃借料	765	765	877	910	910
その他	8,367	9,324	9,391	10,712	10,439
収支差額 (a-b)	0	0	0	0	0

### (3) 県民サービスの向上等

- ① ホームページでのリアルタイムな施設空き状況の発信
- ② SNSを活用した情報発信
- ③ 施設営業日の拡大等
  - ア 年末年始の施設開放
  - イ 利用時間の柔軟な対応
- ④ 類似施設の実績に基づいた適正な維持管理
- ⑤ 利用者ニーズに応じた各種取組
 

突発的なケガや熱中症対策としての氷の提供、用具レンタル等

## 宮崎海洋高等学校進洋丸代船建造事業に係る補正

高校教育課

### 1 事業の目的・背景

宮崎海洋高校の実習船は、建造から16年が経過し、経年劣化が進んでいることから、その代船として、国際条約基準に準拠するための脱硝装置を搭載した実習船の建造を進めてきた。今般、円安やウクライナ情勢等の影響により、契約当初と比べ資材が高騰しており、事業費の増額が必要となったため、補正を行う。

### 2 事業の概要

(1) 予算額 60,000千円  
(事業費総額(補正後): 2,496,746千円)

(2) 財源 県債 45,000千円  
一般財源 15,000千円

(3) 事業期間 令和4年度(全体事業期間: 令和2年度から令和4年度まで)

(4) 事業内容 宮崎海洋高等学校進洋丸代船建造事業の工事請負費において、資材高騰にかかる増額補正を行う。

### 3 事業効果

- (1) 4級海技士養成施設としての指定を継続させ、水産・海運業界が求める専門的な知識・技術及び技能を身に付けた海洋人材を育成することができる。
- (2) 県民の船として、大学との共同研究や小中学生への海洋教育、さらに災害時の利用等に対応できる装備を設置し、実習船の幅広い利活用を図ることができる。



## 【議案第29号】

# 市町村立学校職員の給与等に関する条例及び義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置に関する条例の一部を改正する条例

教 職 員 課

## 1 改正の理由

令和4年の人事委員会勧告等を踏まえ、市町村立学校職員の給与を改定するとともに、地方公務員法の改正により職員の定年を引き上げることに伴い、60歳を超える職員に係る給与の取扱いなど、所要の改正を行うものである。

## 2 改正の内容

### (1) 給料表

人事委員会勧告に基づき、現行の給料表を改定する。(0.24%)

### (2) 定年延長関係

#### ア 給料月額

60歳を超える職員の給料月額については、当分の間、60歳前の7割水準とする。

#### イ 給料表

定年引上げに伴い設置される定年前再任用短時間勤務職員について、基準給料月額を定める。

### (3) その他

関係法の改正に伴う引用条項及び文言等の修正

## 3 施行期日

令和5年4月1日から施行する。

ただし、人事委員会勧告に基づく給料表の改正については、公布の日から施行し、令和4年4月1日から適用する。





## 【その他報告事項】

### 次期「宮崎県教育振興基本計画」（骨子案）について

教育政策課

#### 1 計画策定の背景

令和元年6月に策定した「宮崎県教育振興基本計画（令和元年策定）」の計画期間が令和4年度までとなっていることから、その成果等を検証した上で、令和5年度からの新たな計画を策定する。

#### 2 計画の性格

本計画は、教育基本法第17条第2項に基づいて策定する「地方公共団体における教育の振興のための施策に関する基本的な計画」である。

また、宮崎県総合計画の部門別計画として位置付けられる。

#### 3 計画の構成

- ①計画の策定に当たって
- ②本県教育の現状
- ③本県が目指す教育の姿
- ④計画の推進に当たって
- ⑤施策の展開

#### 4 計画の期間

令和5年度（2023年度）から令和8年度（2026年度）までの4年間とする。

#### 5 今後のスケジュール（予定）

令和5年 1月	第3回宮崎県教育振興基本計画策定懇話会
2月	定例教育委員会（素案報告）
3月	2月定例会 文教警察企業常任委員会（素案報告）
3～4月	パブリックコメント
5月	定例教育委員会（計画案付議）
6月	6月定例会 議案（計画案）を県議会へ提出

## ＜計画の全体像＞（案）

宮崎県総合計画  
（未来みやざき創造プラン）

宮崎県教育基本方針

教育基本法  
国の教育振興基本計画



### 宮崎県教育振興基本計画

#### ＜基本目標＞

目標 1	多様性を認め合い、 一人一人を大切にする教育の推進
目標 2	次代へ向けて学び続ける 子供たちを育む教育の推進
目標 3	ふるさとへの誇りと愛着を持ち、 世界を視野に活躍する人材の育成
目標 4	スポーツを生かした 「未来のみやざき」づくりの推進
目標 5	生涯を通じて学び、 文化に親しむ社会づくりの推進
目標 6	学校業務の改善と 教職員の資質能力の向上
目標 7	教育効果を高める体制や 環境の整備・充実

#### ＜施策＞

1	いのちと人権を守り、豊かな心を育む教育の推進
2	特別支援教育の推進
3	全ての児童生徒に応じた教育機会の確保
4	幼児期の教育の充実
5	確かな学力を育む教育の推進
6	教育の情報化の推進
7	郷土を愛し、地域社会に参画する態度を育む教育の推進
8	社会の変化に対応した多様な人材を育む教育の推進
9	キャリア教育・職業教育の推進
10	幅広い世代でのスポーツの推進
11	児童生徒の健やかな体を育む体力・健康づくりの推進
12	生涯学習の推進
13	文化の振興
14	読書県づくりの推進
15	学校における働き方改革の推進
16	教職員の資質能力の向上
17	安全・安心な教育環境の整備・充実
18	地域と学校の連携・協働の推進
19	魅力ある多様な教育環境の振興・支援

# ＜施策の体系＞（案）

～基本目標、施策及び施策の内容～

## 基本目標1 多様性を認め合い、一人一人を大切にする教育の推進

### 施策1 いのちと人権を守り、豊かな心を育む教育の推進

- ①いのちを大切にする教育の推進
- ②人権教育の推進
- ③道徳教育の推進
- ④体験活動の充実

### 施策2 特別支援教育の推進

- ①多様なニーズに対応した支援体制の充実
- ②全ての教職員の特別支援教育に関する専門性向上
- ③自立支援・就労支援の充実

### 施策3 全ての児童生徒に応じた教育機会の確保

- ①いじめ及び不登校・高等学校中途退学等への対応の充実
- ②義務教育未修了者や外国籍の児童生徒等への教育の提供・支援
- ③修学支援の充実

## 基本目標2 次代へ向けて学び続ける子供たちを育む教育の推進

### 施策4 幼児期の教育の充実

- ①教育・保育内容の充実・支援
- ②子育て支援体制の充実
- ③小学校教育との円滑な接続の推進

### 施策5 確かな学力を育む教育の推進

- ①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善
- ②実態把握と分析による最適な学びの充実

### 施策6 教育の情報化の推進

- ①ICTを活用した児童生徒の資質・能力の育成
- ②教職員のICTの活用指導力の向上
- ③ICTを活用するための環境の整備
- ④ICT推進体制の整備と校務の改善

## 基本目標3 ふるさとへの誇りと愛着を持ち、世界を視野に活躍する人材の育成

### 施策7 郷土を愛し、地域社会に参画する態度を育む教育の推進

- ①学校における「ふるさと学習」の充実
- ②地域課題解決に参画する態度を育む教育の推進
- ③地域における「ふるさとに学ぶ活動」の推進

### 施策8 社会の変化に対応した多様な人材を育む教育の推進

- ①グローバル化に対応した教育の推進
- ②科学技術教育の推進
- ③環境教育の推進

### 施策9 キャリア教育・職業教育の推進

- ①児童生徒の発達に応じたキャリア教育の推進
- ②家庭・地域と連携・協働したキャリア教育の推進
- ③時代の変化に対応できる職業教育の推進
- ④高校生の就職支援の充実

## 基本目標4 スポーツを生かした「未来のみやぎき」づくりの推進

### 施策10 幅広い世代でのスポーツの推進

- ①多様な主体におけるスポーツの推進
- ②共生社会の実現に向けたスポーツの推進
- ③スポーツによる地域活性化
- ④国スポ・障スポ大会に向けた競技力向上

### 施策11 児童生徒の健やかな体を育む体力・健康づくりの推進

- ①学校体育の推進
- ②健康教育・食育の推進

## 基本目標5 生涯を通じて学び、文化に親しむ社会づくりの推進

### 施策12 生涯学習の推進

- ①生涯学習推進体制の充実
- ②社会教育の充実
- ③家庭教育支援の充実

### 施策13 文化の振興

- ①県民誰もが文化に親しむ機会の充実
- ②文化活動を支え育む環境の整備
- ③文化資源の保存・継承・活用
- ④学校における文化芸術活動の充実

### 施策14 読書県づくりの推進

- ①学校における読書活動の推進
- ②家庭・地域における読書活動の推進
- ③読書県づくりの推進体制の充実

## 基本目標6 学校業務の改善と教職員の資質能力の向上

### 施策15 学校における働き方改革の推進

- ①学校の機能を高めるための学校業務の改善
- ②部活動の地域移行に向けた環境整備

### 施策16 教職員の資質能力の向上

- ①優れた人材の確保
- ②専門性や社会性の向上のための研修の充実

## 基本目標7 教育効果を高める体制や環境の整備・充実

### 施策17 安全・安心な教育環境の整備・充実

- ①子供が自ら安全に行動する力の育成
- ②安全・安心な学校施設の整備
- ③実践的な防災教育等の推進

### 施策18 地域と学校の連携・協働の推進

- ①コミュニティスクールと地域学校協働活動の一体的推進
- ②教育に関する県民意識の醸成

### 施策19 魅力ある多様な教育環境の振興・支援

- ①公立小・中・義務教育学校の教育環境の充実
- ②県立学校の教育環境の充実
- ③学校種間の連携・接続の推進
- ④私立学校の振興
- ⑤高等教育機関との連携

# 第77回国民体育大会の結果について

スポーツ振興課 競技力向上推進室

## 1 総合成績（男女総合：天皇杯）

天皇杯得点 834.5点 32位（令和元年 718.0点 41位）

皇后杯得点 537.5点 31位（令和元年 442.5点 42位）

<九州各県の天皇杯の順位>

福岡県8位、鹿児島県14位、佐賀県21位、大分県24位、沖縄県34位、熊本県37位、長崎県45位  
 （2023年開催県） （2024年開催県） （2014年開催県）

## 2 成績の推移（参加点400点を含まない）

年	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4
開催県	東京	長崎	和歌山	岩手	愛媛	福井	茨城	鹿児島	三重	栃木
順位	38	19	42	39	44	39	41	延期	中止	32
競技得点	378.0	601.0	307.5	368.5	302.0	380.5	318.0	—	—	434.5

## 3 成年少年・男女別競技得点（参加点400点を含まない）

	令和4年	令和元年	増減 (R4-R元)
成年男子	98.0	105.5	△ 7.5
成年女子	44.0	41.0	3.0
少年男子	159.0	120.0	39.0
少年女子	133.5	51.5	82.0
合計	434.5	318.0	116.5
成年	142.0	146.5	△ 4.5
少年	292.5	171.5	121.0
男子	257.0	225.5	31.5
女子	177.5	92.5	85.0

## 4 競技種目別

### (1) 団体競技

競技名	種別	(所属等)	順位	競技得点
ホッケー	少年女子	高鍋高	4位	40.0
柔道	成年男子	旭化成株式会社 (杉本・立川・笹谷・川田・尾原)	2位	35.0
バスケットボール	少年女子	選抜(小林高、延岡学園高、日章学園高、日章学園中)	5位タイ	12.5
バドミントン	少年女子	日章学園高(山内、牧野、武末)	5位タイ	7.5
弓道	成年男子	選抜(矢野、丸山、後藤)	近的1位	24.0
	成年女子	選抜(轟木、市來、野中)	近的7位	6.0
	少年男子	選抜(山崎・大野・黒木)	遠的6位	9.0
剣道	少年男子	選抜(池田、川添、横山、船迫、荒木)	3位	30.0
6競技 8種別 男子4 女子4			合計	164.0
R元年 (5競技 8種別 男子6 女子2)			(R元年)	(153.0)

### (2) 個人競技

競技名	種別	選手名(所属)	種目・順位	競技得点
陸上競技	少年男子	三森(宮崎工業高)	少年B走幅跳	7位 2.0
		倉澤(アスレチック宮崎)	少年A100m	6位 3.0
		原口(宮崎農業高)	共通走高	1位 8.0
	少年女子	那須(宮崎商業高)	共通走高	5位 4.0
		田中(小林高)	少年A800m	7位 2.0
		計		19.0
水泳	少年女子	金納(宮崎中)	少年B100m背泳ぎ	6位 3.0
	少年女子	秋高(生目中)	少年B50m自由形	6位 2.5
	計		5.5	
ボート	成年男子	橋口(富山国際大)	シングルスカル	6位 3.0
	計		3.0	

競技名	種別	選手名(所属)	種目・順位	競技得点	
ボクシング	成年男子	金谷(駒澤大)	ライトフライ級 2位	7.0	
		奈須(拓殖大)	フライ級 5位タイ	2.5	
		脇田(日本体育大)	ウェルター 3位タイ	5.5	
		瀬井(東洋大)	ミドル級 3位タイ	5.5	
	少年男子	村上(日章学園高)	ピン級 2位	7.0	
		山下(日章学園高)	フライ級 1位	8.0	
		佐久本(日章学園高)	ライト級 5位タイ	2.5	
		吉住(日章学園高)	ライトウェルター 1位	8.0	
計				46.0	
レスリング	成年男子	松崎(福島高教)	グレコローマン87kg級 5位タイ	2.5	
		守部(東京桜美林中学校教)	グレコローマン97kg級 5位タイ	2.5	
	少年男子	石山(都城西高)	フリー51kg級 5位タイ	2.5	
		前原(都城西高)	フリー60kg級 5位タイ	2.5	
		内村(宮崎工業高)	フリー71kg級 5位タイ	2.5	
		岩澤(宮崎工業高)	グレコローマン125kg級 3位タイ	5.5	
計				18.0	
ウェイトリフティング	成年男子	青野(佐土原高教)	89kg級クリーン&ジャーク 3位	6.0	
	女子	宮越(金沢学院大)	71kg級クリーン&ジャーク 8位	1.0	
	少年男子	押領司(小林高)	55kg級スナッチ 6位	3.0	
			55kg級クリーン&ジャーク 2位	7.0	
		中村(宮崎海洋高)	61kg級スナッチ 8位	1.0	
			61kg級クリーン&ジャーク 3位	6.0	
		塩谷(佐土原高)	89kg級スナッチ 8位	1.0	
			89kg級クリーン&ジャーク 5位	4.0	
計				29.0	
自転車	成年男子	高佐(日大)	スクラッチ 8位	1.0	
	女子	岩元美(鹿屋体大)	チーム・スプリント 7位	6.0	
		年見(鹿屋体大)			
		岩元杏(日体大)	スクラッチ 2位	7.0	
			個人ロード 4位	5.0	
	少年男子	岩元美(鹿屋体大)	500mタイムトライアル 8位	1.0	
		年見(鹿屋体大)	ケイリン 2位	7.0	
		藤村(都城工業高)	個人ロード 5位	4.0	
			ポイント・レース 2位	7.0	
		計			
馬術		成年男子	松田(本庄高教)	六段障害飛越 5位タイ	3.5
計				3.5	
ライフル射撃	成年女子	西村(MRT宮崎放送)	10mエア・ライフル伏射(60発) 5位	4.0	
計				4.0	
空手道	少年男子	政岡(宮崎第一高)	組手 5位タイ	2.5	
計				2.5	
カヌー (スプリント)	成年女子	谷口(デンソー宮崎)	200mカヤックシングル 2位	7.0	
	少年男子	亀長(宮崎工業高)	500mカナディアンシングル 4位	5.0	
		村橋・柿本(宮崎大宮高)	500mカヤックペア 1位	8.0	
			200mカヤックペア 1位	8.0	
		少年女子	福島・中村(宮崎商高)	500mカナディアンペア 1位	8.0
	200mカナディアンペア 5位			4.0	
	今井(宮崎商業高)		500mカヤックシングル 5位	4.0	
			選抜(川野・夏井)	500mカヤックペア 3位	6.0
		200mカヤックペア 2位	7.0		
	宮崎商業 (奈須、鳥原、若松、村橋)	500mカヤックフォア 1位	24.0		
		200mカヤックフォア 2位	21.0		
	計				102.0
11競技 52種目 男子35 女子17 (R元年)(10競技 47種目 男子31 女子16)			合計 (R元年)	270.5 (165.0)	